

系	統	2液型エポキシ樹脂系炭素繊維シート用含浸接着剤
特	長	1) 炭素繊維シートに対する含浸接着性に優れる。 2) 耐水性、耐薬品性、耐アルカリ性に優れる。 3) 上塗り塗料との付着性に優れる。
用	途	1) 炭素繊維シートを用いた各種コンクリート構造物の補強工法用 首都高速道路株式会社「コンクリート床版補強設計施工要領」 含浸接着樹脂の規格 適合
配	合 比	主 剤：硬化剤 = 2：1 (重量比)
荷	姿	10kgセット (主剤/6.67kg、硬化剤/3.33kg)
外	観 性 状	主 剤…淡白色粘稠液状 硬化剤…Sタイプ：緑色液状 Wタイプ：緑色粘稠液状 混合物…緑色粘稠液状

可使時間の目安

タ イ プ	夏 用 (S)			冬 用 (W)		
温 度 [°C]	15	20	35	5	10	20
可 使 時 間 [分]	80	55	16	80	60	25

比 重

1.00～1.30 (硬化物)

標準使用量

使用する炭素繊維シートのメーカー仕様による

-仕様例-

目付量400g/m ²	1.0kg/m ²	(下塗り0.5kg/m ² , 上塗り0.5kg/m ²)
目付量300g/m ²	0.8kg/m ²	(下塗り0.5kg/m ² , 上塗り0.3kg/m ²)
目付量200g/m ²	0.6kg/m ²	(下塗り0.4kg/m ² , 上塗り0.2kg/m ²)

貯蔵保証期間

12か月 (未使用、冷暗所保存)

消防法による区分

主 剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性
硬化剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性日本接着剤工業会
ノンホルムアルデヒド
製品登録Sタイプ：JAIA-002894 F☆☆☆☆
Wタイプ：JAIA-009688 F☆☆☆☆毒物及び劇物
取 締 法主 剤 該当しない
硬化剤 該当しない

使用 方 法

- 1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
- 2) 計量した主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。
- 3) ローラー等で被塗面に塗布し、炭素繊維シートを接着する。
- 4) 含浸・脱泡ローラーで接着剤を含浸させ、気泡や余分な接着剤をしごきとる。

使用上の注意

- 1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイトンス、汚れ、水分の除去)
- 2) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。
- 3) 可使時間内に作業を終了する。
- 4) 塗装間隔が7日以上となる場合は、被塗面をサンドペーパー等で処理する。
- 5) シンナーや水を混入して使用しない。

⚠ 注 意

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。 2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 4. 詳細については安全データシート (SDS) を参照してください。 |
|--|